

〔平成17年度設置〕

富山大学芸術文化学部

設置に係る年次計画履行状況報告書

国立大学法人 富山大学
平成18年5月1日現在

作成担当者

総務部総務課

総務課長 加 長 漢 島 比 寛

電話番号 076-445-6003

(夜間) 076-445-6003

F A X 076-445-6014

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	2
3	施設・設備の整備状況，経費	1 3
4	既設大学等の状況	1 4
5	学部・学科別教員組織の状況	1 6
6	留意事項に対する履行状況等	1 7
7	その他全般的事項	1 8
	(1) 設置計画変更事項等	
	(2) 自己点検・評価等に関する事項	

大学等設置に係る年次計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

区 分	内 容										備 考
(1) 設 置 者	国立大学法人 富 山 大 学										
(2) 大学 の 名 称	富 山 大 学										
(3) 大学本部の位置	富山県富山市五福3190										
(4) 管理運営組織		認 可 時				変 更 状 況					平成17年10月富山大学 富山医科薬科大学、高岡 短期大学の再編・統合が 予定されており認可時は 選考中であったため 新設により、認可時は選 考中であったため
	職 名	(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)				(フリガナ) 氏 名 (現職就任年月)					
	理 事 長	/				/					
	学 長	選考中				西 頭 徳 三 (平成17年10月1日)					
	学 部 長	選考中				前 田 一 樹 (平成17年10月1日)					
学科長等	/				/						
(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学状況等											
調 査 対 象 学 部 等 の 名 称 (学 位)	認 可 時 の 計 画				入 学 状 況 等						平 均 入 学 定 員 超 過 率
	修 業 年 限	入 学 定 員	編 入 学 定 員	収 容 定 員	区 分	平 成 1 8 年 度	平 成 1 9 年 度	平 成 2 0 年 度	平 成 2 1 年 度		
芸術文化学部 芸術文化学科 学士(芸術文化)	4	115	年次人	460	A 入学定員	115	()	()	()	1.19 倍	
					志願者数	968	()	()	()		
					受験者数	816	()	()	()		
					合格者数	147	()	()	()		
					B 入学者数	137	()	()	()		
					入学定員 超過率 B/A	1.19	()	()	()		
					在学者数	1 [137]	1 []	1 []	1 []		
					計 [137]	計 []	計 []	計 []			

2 授業科目の概要

< 芸術文化学部芸術文化学科 >

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員配置				備考
		必修	選択	自由	教授	助教授	講師	助手	
教養教育科目 (リテラシー科目)									
イグ リッシュ・コミュニケーション入門 1	1	1				1			
イグ リッシュ・コミュニケーション入門 2	1	1							
イグ リッシュ・コミュニケーション中級 1	2		1						
イグ リッシュ・コミュニケーション中級 2	2		1						
英文表現・理解 A - 1	1	2					1		
英文表現・理解 A - 2	1	2			1				
英文表現・理解 B - 1	2		2						
英文表現・理解 B - 2	2		2						
インターネット英語	2		2						
資格の英語(TOEIC / 英検)	2		2						
中国語会話	1		2		1				
中国語会話	1		2						
中国語作文	1		2						
中国語作文	1		2						
中国語読解	1 2		2						教育効果を考慮し、平成18年度から変更
情報処理入門	1	2				1			
コンピュータの基礎	1		2						
コンピュータによるデザイン入門	1		2				1		
EUCによる情報処理入門	1		2						
健康スポーツ	1	1			1			1	
健康スポーツ	1	1							
基礎ゼミ	1	2							
プロジェクトゼミ	1	2							
(立山マルチヴァース) 感性をはぐくむ	1・2・3		2						

富山学 - わたしの富山	1・2・3	2						
心(こころ),身体(からだ),そして 生命(いのち)	1・2・3	2						
(幅広い教養) ライフスタイル	1	2						
暮らしとインテリア	4	2						
生活と環境	2	2						
生活の中のデザイン	1	2						
ヒト・身体(からだ)・道具	3	2						
人と金属とものづくり	4	2						
人と道具	2	2						
ボランティアの世界	2	2						
身近な医学	4	2						
地域と文化	1	2						
建築と文化	1	2						
芸術の社会学	3	2						
文化と政策	3	2						
文化と観光	1	2						
日本美術の見かた	2	2						
西洋絵画の見かた	1	2						
西洋演劇の歴史	2	2						
デザイン工芸概論	1	2						
デザインの世界	1	2						
中国の演劇	4	2						
中国の言語と文化	2	2						
メディアアートの楽しみ	1	2						
金属と装飾	4	2						
異文化理解文献研究(英語)	3	2						
異文化理解文献研究(中国語)	3	2						
まちづくり	2	2						
ジェンダー	3	2						
アメリカ社会文化論	4	2						

経済の仕組み	3		2					
経営の仕組み	3		2					
国際ビジネス	3		2					
生産管理	3		2					
会計の仕組み	3		2					
管理会計	3		2					
インターネットの仕組み	1		2			1		
情報の読み方	2		2					
世界の英語	2		2					
建築とリサイクル	2		2					
技術と社会	1		2					
人と空間	2 1		2					教育効果を考慮し、平成18年度から変更
人と木のある暮らし	1		2					
物質と科学	1		2					
力と形	1		2					
形の発想	1		2					
造形図法	1		2					
デジタルテクノロジーの世界	1		2					
造形のための数学の入門	1		2					
造形のための物理入門	1		2					
造形のための化学入門	1		2					
美術の楽しみ（色で表現する）	2		2					
美術の楽しみ（形で表現する）	3		2					
工作の楽しみ	2		2					
水泳・水中運動	2		2					
コミュニケーションとデザイン概論	3		2					
展示・プレゼンテーション英語	4		2					
専門教育科目 （学部共通科目） （芸術の理解） 美学	2		2			1		
日本美術史	2		2					

西洋美術史	2		2						
伝統文化論	2		2						
音楽文化論	2		2						
近代デザイン工芸論	2 1		2			1			教育効果を考慮し、平成18年度から変更
意匠と文様	2		2						
インタラクティブアート入門	1		2					1	
(芸術文化と自然・社会との関係の理解)									
建築史	2		2						
工芸史	2		2						
デザイン史	2		2						
高齢化社会の情報文化	2 1		2			1			教育効果を考慮し、平成18年度から変更
メディアアート基礎	2 1		2						教育効果を考慮し、平成18年度から変更
電子ビジネス概論	2		2						
マーケティング	1		2			1			
社会環境と価値観	2		2						
社会調査法	2		2						
原価管理	2		2						
光と色彩の科学	2		2						
金属工芸技術史概論	2		2			1			
動態学	2		2						
工芸・デザイン材料	1		2						
(造形芸術・デザインの技法)									
アイデア発想法	1		2						
デザインプレゼンテーション	2		2						
基礎造形表現(平面)	1		2						
基礎造形表現(立体)	1		2						
基礎デザイン演習	1		2						
ビジュアル基礎演習	1		2						
生活用具制作	2		2						
ものづくりのための描写演習	1		2						

デザイン工芸のための機械操作	1	2					
UNIXとプログラミングの基礎1	2	2	1				
UNIXとプログラミングの基礎2	2	2					
(基幹科目)							
(情報処理関連)							
コンピュータによるデザイン演習	2	2					
Web基礎演習	2	2					
情報ネットワーク	3	2					
デザインとユビキタス社会	3	2					
CADを用いた家具設計の基礎	2	2					
デザイン工芸のためのCAD演習	3	2					
(造形関連)							
絵画論	2	2					
絵画基礎	1	2					
造形基礎演習(木彫)	2	2					
抽象立体表現	2	2					
彫刻基礎演習(塑造)	1	2					
絵画技法・材料	2	2					
漆工技法・材料	2	2					
インタラクティブアート基礎演習	2	2					
(工芸関連)							
回転体制作基礎演習	2	2					
素地加工法	3	2		1			
鋳金工芸基礎演習	1	2					
複合鍛金	2	2	1				
クラフト・デザイン	2	2			1		
工芸制作入門	1	2					
造形発想の手法	2	2					
金工基礎演習	1	2					
金工制作法	3	2					
漆工基礎演習	1	2					
家具構法	3	2	1				

木工基礎演習	1		2					
木工具演習	2		2					
成形合板演習	3		2					
蝸型鑄造	2		2					
漆素地制作	2		2					
漆塗装	2		2					
漆用具製作	2		2				1	
クラフト製品の量産	3		2					
木工機械加工実習	2		2				1	
コース共同課題	2		2					
(デザイン関連)								
シンボルデザイン演習	1		2					
デザインマネジメント概論	2		2					
デザインマネジメント演習	2		2					
ビジュアルコミュニケーション演習 A	2		2				1	
パッケージデザイン論	3		2					
デザインリサーチ	2		2	1				
デザイン調査法	3		2					
メディア・プレゼンテーション	3		2					
シルクスクリーン演習	1		2					
デザイン製図演習	2		2					
製品評価法	3		2					
サーフェスデザイン	2		2					
(建築関係)								
住居論	1		2					
建築計画	2		2	1				
近・現代建築意匠	2		2					
構造力学 1	2		2	1				
材料力学	2		2					
環境工学	3		2		1			
環境工学設計演習	3		2					
人間工学概論	1		2				1	

人間工学測定法	2		2						
建築製図	1		2					1	
(材料関連)									
造形金属材料入門	2		2						
造形工学基礎	2		2						
技術開発論	3		2						
金属材料加工法	2		2						
木質材料入門	1		2						
有機材料入門	2		2			1			
造形工学基礎実験	2		2					1	
(芸術文化論関連)									
現代美術論	2		2						
現代工芸論	3		2						
伝統芸能論	2		2				1		
地域産業論	3		2						
文化と行政	2		2						
国際観光論	3		2		1				
観光英語	2		2						
アートマネジメント総論	2		2		1				
博物館概論	3		2						
情報造形論	3		2						
保存と修復	3		2						
(展開科目)									
(情報処理関連)									
インタラクティブアートプログラミング基礎	2		2						
インタラクティブアートプログラミング応用	3		2						
インタラクティブアートプログラミング総合	3		2						
図形情報実習	3		2					1	
メディアアート技術論	3		2			1			
(造形関連)									
インタラクティブアート応用演習	3		2						
絵画A	2		2		1				
絵画B	3		2						
絵画C	4		2						

環境絵画 A	2		2		1		
環境絵画 B	2		2				
環境造形 A (塑造)	2		2				
環境造形 B (木材)	3		2				
環境造形 C (金属)	3		2				
金属立体造形	4		2				
彫刻実習 (木彫)	3		2	1			
彫刻実習 (木彫)	4		2				
彫刻実習 A (塑造)	3		2	1			
彫刻実習 B (塑造)	4		2				
インタラクティブアート総合実習	4		2				
(工芸関連)							
工芸プロダクト・デザイン	3		2				
原型制作	3		2	1			
込型鋳造	3		2				
ジュエリー制作	3		2		1	1	
石膏鋳造	3		2				
鍛金	2		2				
生型鋳造	2		2				
蒔絵	3		2				
螺鈿	3		2	1			
漆造形表現	3		2				
食器制作	4		2				
変わり塗り	3		2		1		
家具デザイン・制作	3		2	1			
工芸プロダクト・制作	3		2				
(デザイン関連)							
インフォメーションデザイン演習	2		2				
インターフェースデザイン演習	4		2	1			
広告デザイン演習	3		2				
ブランドデザイン	4		2				
サインデザイン演習	3		2				

プロダクトデザイン	2		2		1			
事業計画立案演習	3		2		1			
ビジュアルコミュニケーション演習 B	3		2		1			
ビジュアルコミュニケーション演習 C	4		2					
形態発想実習	2		2					
プロダクトデザイン実習 A	3		2					
プロダクトデザイン実習 B	3		2					
(建築関連)								
建築論	3		2		1			
建築生産	2		2					
建築設備	3		2					
建築法規	4		2					
木質構造	3		2					
建築材料	3		2					
構造力学 2	4		2					
空間デザイン A (シェルター)	2		2					
空間デザイン B (家具)	2		2					
空間デザイン C (戸建住宅)	2		2					
空間デザイン D (集合住宅)	3		2					
空間デザイン E (非木造の特殊建築物)	3		2					
空間デザイン F (インテリア)	4		2					
人間工学設計法	3		2					
木質構造実習 (木造軸組住宅)	3		2					
(材料関連)								
造形材料 (金属材料)	3		2		1			
造形材料 (有機材料)	2		2					
造形材料 (表面処理)	3		2		1			
造形材料 (木質材料)	2		2		1			
造形金属新素材	4		2					
塗料化学	3		2					
造形材料実験 (金属材料)	3		2					

造形材料実験（表面処理）	3		2						
造形材料実験（木質材料）	3		2						
造形材料実験（有機材料）	3		2						
（芸術文化論関連） アートマネジメント論（公演芸術）	2		2		1				
マーケティング・マネジメント	2		2						
鑑賞と批評（日本美術）	3		2		1				
鑑賞と批評（伝統芸能）	3		2						
環境芸術論	3		2						
環境美学	3		2						
企業メセナ論	3		2						
プロデュースシステム	3		2						
NPO企画演習	2		2						
パブリックアート論	2		2						
都市計画と文化	3		2						
伝統思想論	3		2						
地域と文化事業マネジメント	3		2						
文化施設計画論	3		2						
日本美術史料研究	3		2						
伝統文化資料研究	3		2						
（卒業研究・制作） 卒業研究・制作	4	8							

（２） 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 10	科目 267	科目	科目 277	科目 [0]	科目 [0]	科目 []	科目 [0]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし				
2					

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講，廃止としたことに係る大学の所見

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.00$$

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	土地購入			
	m ² 711,680(1,370) 663,857(1,367)	m ² 0(0)	m ² 0(0)	m ² 711,680(1,370) 663,857(1,367)				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学 校等の専用等	計	校舎の改修			
	m ² 276,866(276,866) 276,134(276,134)	m ² 0(0)	m ² 0(0)	m ² 276,866(276,866) 276,134(276,134)				
(3) 講 義 室 教室等	演 習 室	実 験 実 習 室	情報処理学習施設	語 学 学 習 施 設	平成17年10月富山大学・富山医科薬科大学・高岡短期大学が再編・統合したため			
	111 8 室	187 22 室	955 40 室	22 2 室 (補助職員 10 人)		4 4 室 (補助職員 4 人)		
(4) 専 任 教 員 研 究 室	調査対象学部等の名称		室 数					
	芸術文化学部芸術文化学科		4 4 室					
(5) 図 書 ・ 設 備								
調査対象学部 等の名称	図書[外国書] 冊	学術雑誌 外国書] 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点			
芸術文化学部	75,870 [14,390] (68,670 [12,590])	940 [240] (900 [230])	(2,150 1,750)	(136 136)	(0 0)			
計	75,870 [14,390] (68,670 [12,590])	940 [240] (900 [230])	(2,150 1,750)	(136 136)	(0 0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
	12,357 966 m ²		1,134 86 席	995,000 58,000 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	7,862 1,469 m ²		弓道場・武道館	プール・テニスコート				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	国 費
		教員1人当りの研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
り及び維持方法の概要	学生1人当り納付金	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設 備 購 入 費	千円	千円	
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

4 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学							備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	定員超過率	学位又は称号	
人文学部 人文学科 計	4	185	10	760	1.04	学士	昭和 24	富山市五福 3190 番地
人間発達科学部 発達教育学科 人間環境システム学科 計	4 4 4	80 90 170		320 360 680	1.08 1.13	学士		"
経済学部 [夜間主コースは内数] 経済学科 経営学科 経営法学科 計	4 4 4 4	155 [20] 135 [20] 115 [20] 405 [60]	3 年次 10 10 10	620 [60] 540 [60] 460 [60] 1,640 [240]	1.04 [1.18] 1.05 [1.24] 1.06 [1.15]	学士		"
理学部 数学科 物理学科 化学科 生物学科 地球科学科 生物圏環境科学科 計	4 4 4 4 4 4 4	50 40 35 35 40 30 230	3 年次 10 10	200 160 140 140 160 120 940	1.08 1.10 1.13 1.09 1.04 1.08	学士		"
医学部 医学科 看護学科 計	6 4	90 60 150	3 年次 5 10 15	560 260 820	1.00 1.00	学士	昭和 50 平成 5	富山市杉谷 2630 番地
薬学部 薬学科 創薬科学科 計	6 4	55 50 105		330 200 530	1.07 1.00	学士	平成 18 昭和 51	"
工学部 電気電子システム工学科 知能情報工学科 機械知能システム工学科 物質生命システム工学科 計	4 4 4 4	88 78 88 151 405	3 年次 30 30	352 312 352 604 1,680	1.06 1.06 1.08 1.10	学士	昭和 24	富山市五福 3190 番地
人文科学研究科 文化構造研究専攻 (修士課程) 地域文化研究専攻 (修士課程) 計	2 2	5 5 10		10 10 20	2.15 0.90	修士	昭和 61	"
教育学研究科 学校教育専攻 (修士課程) 教科教育専攻 (修士課程) 計	2 2	6 32 38		12 64 76	1.38 0.76	修士	平成 6	"
経済学研究科 地域・経済政策専攻 (修士課程) 企業経営専攻 (修士課程) 計	2 2	4 4 8		8 8 16	1.44 3.44	修士	平成 3	"
生命融合科学教育部 認知・情動脳科学専攻 (博士課程) 生態情報システム科学専攻 (博士課程) 先端ナノ・材料科学専攻 (博士課程) 計	4 3 3	9 4 4 17		36 12 12 60	0.67 2.25 1.25	博士 博士 博士	平成 18	富山市五福 3190 番地 富山市杉谷 2630 番地

医学薬学教育部							平成 18	富山市杉谷 2630 番地
医科学専攻 (修士課程)	2	15	30	0.71	修士			
看護学専攻 (修士課程)	2	16	32	0.97	修士			
薬科学専攻 (修士課程)	2	30	60	1.90	修士			
臨床薬学専攻 (修士課程)	2	16	32	0.92	修士			
生命・臨床医学専攻 (博士課程)	4	18	72	1.06	博士			
東西統合医学専攻 (博士課程)	4	7	28	0.29	博士			
生命薬科学専攻 (博士課程)	3	18	54	0.94	博士			
計		120	308					
理工学教育部							平成 18	富山市五福 3190 番地
数学専攻 (修士課程)	2	12	24	0.50	修士			
物理学専攻 (修士課程)	2	12	24	0.94	修士			
化学専攻 (修士課程)	2	10	20	1.43	修士			
生物学専攻 (修士課程)	2	10	20	1.33	修士			
地球科学専攻 (修士課程)	2	10	20	0.88	修士			
生物圏環境科学専攻 (修士課程)	2	10	20	0.68	修士			
電気電子システム工学専攻 (修士課程)	2	33	66	1.29	修士			
知能情報工学専攻 (修士課程)	2	27	54	1.05	修士			
機械知能システム工学専攻 (修士課程)	2	33	66	1.02	修士			
物質生命システム工学専攻 (修士課程)	2	60	120	0.98	修士			
数理・ヒューマンシステム科学 専攻 (博士課程)	3	5	15	1.00	博士			
ナノ新機能物質科学専攻 (博士課程)	3	6	18	1.17	博士			
新エネルギー科学専攻 (博士課程)	3	5	15	0.60	博士			
地球生命環境科学専攻 (博士課程)	3	5	15	1.80	博士			
計		238	497					
合 計		2,081 [60]	8,147 [240]					

5 学部・学科別教員組織の状況

< 芸術文化学部芸術文化学科 >

(1) 担当教員表

(略)

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	教 授	助 教 授	講 師	計	助 手	
27	14	7	48	8	27	14	7	48	8	
(27)	(10)	(7)	(44)	(6)	[]	[]	[]	[]	[]	

(3) 専任教員交代の理由

番号	職 位	専 任 教 員 氏 名	辞 任 (就 任 辞 退 を 含 む) 等 の 理 由
1	助教授		アルゼンチンで、有機農法による野菜作りを行うため、平成17年9月30日付けで、退職した。

(4) 専任教員交代に係る大学の所見

前任者、後任者共に母国語が「英語」で、高岡短期大学の外国人教師、他大学の外国語「英語」の非常勤講師を経験しており、学生の履修等への影響は無いものと考えられる。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
認 可 時 (17年10月1日)	特になし		

7 その他全般的事項

< 芸術文化学部芸術文化学科 >

(1) 設置計画変更事項 等

認 可 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 ， 今 後 の 見 通 し な ど
該当なし	該当なし

(2) 自己点検・評価等に関する事項

<p>A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 (別紙のとおり)</p> <p>B 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期 ・平成22年10月1日 公表予定</p> <p>b 公表方法 ・ホームページ上に公開予定 ・評価項目 教育理念及び目標に関すること。 教育活動に関すること。 研究活動に関すること。 教員組織に関すること。 施設設備に関すること。 国際交流に関すること。 社会との連携に関すること。 管理運営及び財政に関すること。 自己点検・評価に関すること。 組織の活動に関すること。 その他必要と認めること。</p> <p>C 認証評価を受ける計画 ・平成20年度に評価機関大学評価・学位授与機構の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

(別紙)

A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 入学者選抜試験について

従来の美術学部を目指す志願者に加え、高等学校普通科や実業科卒業生など、芸術と芸術文化に関心を持つ学生を幅広く受け入れるため、推薦入学、帰国子女・社会人特別選抜、一般選抜(前期・後期)を行い、多数の志願者があった。

倍率は、次のとおり。

推薦入学(募集35人) 7.37倍

一般選抜 前期日程(募集57人) 5.18倍、 後期日程(募集23人) 18.00倍

2. 融合教育について

芸術文化学部の理念の一つに掲げる、「芸術文化に対する感性と幅広い分野に知識・技術を活用し、人間と自然や社会との関わりをみつめ、そこに存在する数々の問題を発見し、解決しようと自発的に行動する意欲的な人材の育成」を実現するための教育の柱が融合教育であり、学生が所属するコースに縛られずに授業を受けられる体制を確立し、教育を開始した。具体的には、授業時間割の作成 コースの履修モデルの作成 学生への履修指導 メンター制度の実施を行った。

授業時間割の作成

学生が各コースで定める必修や選択必修の単位を取得できることに加え、幅広い分野の科目を履修可能な授業時間割を作成した。この結果、多くの学生がコース横断的に幅広い科目を履修する状況が得られた。今後の問題としては、設備などの制限がある実習系の科目で融合教育を保ちつつ、実施可能な運営を行うための授業時間割やルール作りを進めていく必要があることが分かった。

コースの履修モデルの作成

「芸術文化学部の設置の趣旨及び特に設置を必要とする理由を記載した書類」に記載した参考の履修モデルを元に検討を加え、数多くの詳細な履修モデルを作成した。

学生への履修指導

融合教育は履修の自由度が高い反面、カリキュラムの内容を学生が十分に理解する必要がある。学内での履修指導に加え、授業開始前に一泊二日の新生合宿研修を行い、詳細な履修指導を行うとともに、コースを越えた全体の活動などにより融合教育の雰囲気作りも行った。

メンター制度の実施

融合教育を推進するために、コース横断的な学生支援の仕組みとして、メンター制度を開始した。学生をコースと無関係に5～6人のチームに編成し、各チームに1人のメンター教員を割り当て、メンター教員はコースに縛られない広い視野から学生の相談にのるなど、学生指導を行う体制を整えた。1学年に対し、学部全教員の約半数がメンター教員となり、8人ごとのグループを構成し、相互に協力して学生を指導する。平成18年度新生合宿研修時から実施を開始した。

3. 地域社会への貢献について

富山県と富山大学は、平成17年11月に包括的な連携協定を締結し、芸術文化学部は、次の事業に参画することとしている。

利賀インターンシップ:「利賀フェスティバル」や「日露文化フォーラム」などの事業の運営に協力し、舞台芸術施設の管理・運営に参画する。

本学部とアルミ、銅器等の地場産業企業との協働により、現代のライフスタイルにマッチした新たな製品を提案する地場産業デザイン活用研究会の運営に参画する。

本学部と富山県立近代美術館との共同研究により、美術教材の開発を行う。また、企画展「椅子の森から 20世紀の椅子コレクションより」への協力と、学生のワークショップを開催することとしている。

高岡市は、「新たな総合計画」を芸術文化学部の協力を得て、平成19年度に策定することとしている。本学部は、活力と個性のまちづくり「にぎわい部会」に協力し、ものづくり、地域経済・農業・林業・漁業・商業・工業の活性化等を図る施策の検討を行う。また、観光と交流のまちづくり「ふれあい部会」に協力し、国際・国内交流、市民交流、コミュニティ、歴史的まちなみの保存・活用、都市景観の創出等を図る施策の検討を行うこととしている。